

1994年8月4日
HSK 毎月12回(1)
第三種郵便物承認
13
15
18
20
23
25
28日)発行

HSK ステップ

石川県肢体不自由児協会
石川県肢体不自由児者の会連合会

第37号

令和2年1月8日発行

県肢連会員交流 さわやかレクリエーション 10月20日 野々市市中央公民館 にぎわいの里カミーノ ホール



野々市市、白山市合同スタッフで企画した県肢連会員交流さわやかレクリエーション「読み聞かせ・手遊び・音楽を楽しむ！」が無事終了しました。今回は趣向を変え、読み聞かせ、手遊び、のっティ、with の皆さんのミニコンサートと、出演者が多い会となりました。懐かしい整肢学園の支援課の皆さん、学校の先生たちのご協力もあり、また保護者の読み聞かせをすることができ、参加された皆さんに ♥ほんわか♥ していただき、喜んでいただけた気がします。野々市市・白山市のスタッフも、無事にやり遂げられホッとしています。

5月ごろから月1回の情報交換会で打ち合わせを重ね、団結力を育てました。メンバーそれぞれが自分の役割を分担して進めてくれたので良かったです。次回の打ち合わせで反省会を行います。是非、ランチで慰労会をしたいと思えます。

会員の皆さんと、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。感謝です。



第52回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会
(令和元年9月14日～15日 福島県郡山市 ホテル華の湯)



同志社大学社会学部教授立木茂雄氏による記念講演「平時と災害時における障害者への配慮を切れ目なくつなぐ～求められる地域力～」のなかで、個別支援計画を災害時ケアプランとして作成する試みがありました。自治体のソーシャルワーカーが地域と当事者を繋ぎ、相談支援員も参加して避難所までの移動や避難生活について話しあうというものです。内灘の自立支援協議会の中の防災部門で、あらゆる災害を見据えての取り組みが始まっていると耳にしたのですが、地域の活動になかなか出ていくことの出来ない私には、災害時には地域の方々の協力が必要なことはわかっているのですが、その時ばかり助けてもらうのではなく、日頃から参加することを心掛けていかなくてはいけないな、とあらためて考えさせられました。この研修に参加させていただきありがとうございました m(_)_m (油木 由美子)



大会テーマ「住み慣れた地域で共生社会の実現！」に興味を持ち、息子が住み慣れた地域で、この先も安全で健やかに生活が出来るためのヒントを得たく、参加させていただきました。講演会においては特に、立木茂雄氏の「平時と災害時における障がい者への配慮を切れ目なくつなぐ」というタイトルのお話について、東日本大震災から学ばなければならない社会全体の防災に関する取り組みはまだまだ足りず、災害が起こる度に社会の脆弱性が浮き彫りになり、課題となっている事や、根本的な原因は平時の保健・福祉と緊急時の防災・危機管理の取り組みが分断されているため、結果として平時と災害時とのギャップが大きな被災を招いたのではないかと感じました。そして、要支援者の環境は少しずつ整備され、一人一人の暮らしは良くなりつつありますが、個別支援計画を立てる際には「平時の利用プラン、災害時のケアプラン」など、いざと言う時の対応も必要ではないかと指摘されていました。また、普段から地域で暮らす要支援者の減災の手段として、地域での防災意識を高めることの重要性を教えてくださいました。

今回の福祉防災学の「当事者がだれ一人とり残されない」「地域がだれ一人とり残さない」「社会がだれ一人とり残さない」の3つが大切なフレーズであると認識しました。

今後は息子共々、地域（町内会等）の防災訓練などに積極的に参加し、いざと言う時に備えることができればと思います。全国大会に参加させていただきありがとうございました。

(島野 康子)





東北の地震の時に何もしなかった。読み聞かせボランティアとして、三月は「花は咲く」を歌い「花咲き山」を読むことにしているくらいだ。

福島の人々は地震のためより、原発事故からの避難が大変だったと聞いていた。だから福島大会で話を聞きたかった。

涙をこらえて話す目の前の人、あの写真の車列の中にいたのかもしれない。障害者とともに避難所を転々とするのは、どんなに不安だったろう。

そんな本人と家族を支える福祉サービスの話にも、目の奥が熱くなった。帰路を急いで、誰にもお礼を言わずにきてしまった。でもこれからは、ただ思っているだけではない気がする。

(中田 裕子)



東海北陸ブロック地域指導者育成セミナー

(令和元年9月7日～8日 岐阜県高山市 高山市民文化会館)

「東海北陸ブロック地域指導者育成セミナー」に参加して

思いがけず親子3人で参加することができました。

1 日目は熊本学園大学、東俊裕氏による「コミュニティのある応急仮設住宅のあるべき姿」の講演でした。実際に熊本地震を経験された中から、災害時につながりやすい家族LINEを日頃から使い、家族の中で災害時対応についてよく話し合うことが大切であること。また、福祉避難所が自分の市町村にあるか？なければ一般避難所を使いながら、施設の職員を避難所にまわってもらうことができる場所もあるということ。障害者団体として小学校等へバリアフリーチェックに障害者を連れて行く、そして自家発電の有無も確認することが大事である。また、仮設住宅を個別改造ができるように訴えていくことも大事であることなど教えていただきました。

2 日目には、高山市福祉課の石腰洋平氏のお話では、実際に脊髄損傷の方と関わり合いながら仮設住宅のモデル住宅を建設中であり、来年には住んでみるという、大変具体的に計画が進められていることに驚かされました。

4 グループに分かれて行われたディスカッションでは、災害時のための日頃の準備で、水の備蓄、ガソリンを満タンにしておく等々参考になる意見がたくさん出ました。

今回の研修で、災害経験のない私たちも、いつやってくるかわからない災害に備えて、知識を高めていかなければと実感しました。さらにホテルの素敵なバリアフリーと高山牛と高山観光を満喫することができました。ありがとうございました。

(森下 京子)



活動報告

「さわやかレクリエーション」助成事業 かほく市父母の会

かほく市父母の会から一ずは、6月22日にバーベキューを行いました。

楽しみにしていたバーベキューがとても美味しく楽しかったです。うみっこらんどは遊具や芝生が多くて姉妹たちはたくさん遊べて良かったです。私は、芝生や小さな段差が有って車椅子での移動が少し大変でした。

会のお父さん・お母さん・ボランティアさんに焼きそばやイカ焼きを作ってもらったり、自分でお肉や野菜を焼いたりして頑張りました。来年も絶対参加したいです。

〈本人 女性〉



家内に誘われバーベキューに初めて参加をさせて頂きました。障がいのある子どもや会の保護者さんたちがとても元気で明るいのに正直驚きました。子ども達が障害を気にすることもなくバーベキューや遊びに熱中していたり、同世代のボランティアの学生さんやシニアの方と交流している様子を見てまた感激しました。また、保護者の方たちから色々お話を聞くことが出来てとても参考になりました。機会があればまた参加してお手伝いもしたいと思います。ありがとうございました。

〈保護者 男性〉

「さわやかレクリエーション」助成事業 かほく三市町

8月17日 かほく三市町交流会

「カラオケ&ハンドアーチェリー」を楽しみました。



【参加された皆さんの感想】

- ・歌はよく聞いているけど、歌うのは難しかった。でも、カラオケは楽しいです。今度は、楽器とかも借りてもっと楽しみたいです。
- ・歌いまくって楽しかったです。
- ・始めのうちはたくさんの人で戸惑っているようでしたが、まわりから話しかけてもらいだんだんと笑顔になり、声も出るようになって一緒に歌っているようでした。楽しい時間をありがとうございました。
- ・夏バテ気味でしたが、みんなと合唱したり、手拍子を打ったりとビックリするほど自然に元気を取り戻すことが出来ました。子どもたちも思い思いの歌を歌ったり親子で歌ったりと、本当に楽しかったです。ハンドアーチェリーにも力が入りました。
- ・初めてのカラオケ大会で、子どもたちも私もとても楽しかったです。みんなが知っている曲は大合唱になってノリノリでした。わたしも、子どもたちもお友達との会話に時間が経つのも忘れるくらいでした。

お楽しみ映画招待会 ありがとうございます

今年も金沢兼六ライオンズクラブ様のご厚意による映画鑑賞会が8月25日(日)、ユナイテッド・シネマ金沢において行われ、76家族248名の皆さんが『トイ・ストーリー4』を楽しみました。

多数の感想をいただきました、一部を紹介します。

- ・家族でそろって映画を見るということがほとんど無くこのような企画はとても嬉しいです。
- ・いつも重い車椅子を上まで上げてもらいありがとうございます。毎年楽しみにしています。
- ・兼六ライオンズクラブの皆様、浅野川病院の療法士の皆様、本当にありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・家族で共に参加できる大切な時を過ごせました。



金沢兼六ライオンズクラブの皆さん

金沢兼六ライオンズクラブの皆様、ユナイテッド・シネマ金沢支配人様、ありがとうございます。

バザーのご協力ありがとうございます



福祉のつどい金沢



石川県障害者ふれあいフェスティバル



今年も多くの物品をご提供いただきました。9月8日(日)福祉のつどい2019金沢、9月22日(日)石川県障害者ふれあいフェスティバルにおいて販売させていただきました。

収益は、肢体不自由児者の療育活動に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

☆金沢市公設花き市場運営協会様、中村真美堂様、松田郁夫様、紺井好美様、杉本順子様、山田睦子様、干場一功様、西野良子様、新屋由美子様、酒元礼子様、林和子様、高田茂様

「さわやかレクリエーション」助成事業 ひとみきらきら ころろぽかぽか

11月23日(土)本会の啓発宣伝事業として行われる絵本教室も3回目となりました。今回は、はじめに「マインドフルネス」のワークショップが行われ、参加者同士が手を合わせたり、一粒のレーズンをゆっくりと観察し味わったり、鼻から4回吸って、口から4回吐く腹式呼吸など、五感をフルに活用する。そんなリラックスした状態で音楽を聴く、絵本の読み聞かせで、イメージの世界を楽しむ。そして永井陽子さんの電子ピアノの音色に合わせて増田先生の絵本の読み聞かせが行われました。

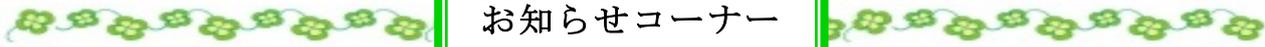
(県立いしかわ特別支援学校にて、35名参加)



青年部・クリスマス会



12月15日(日)ANAクラウンプラザホテル2階花梨の多目的ルーム「セラヴィ」で行い、34名が参加しました。新会長の丸本彩加さんはじめ新役員(7名)の運営で、役員紹介、旧役員への感謝状の贈呈(新田会長・田島副会長・蔵田会計)が行われました。ビンゴゲームでは、松田会長の差し入れのボトルをめぐって争奪戦となりました。なかなかビンゴが出ませんが楽しく盛り上りました。3月にカラオケ会を予定しています。



お知らせコーナー

「成人を祝う会」のお知らせ

令和2年1月19日(日) 午前11時～午後14時30分 石川県社会福祉会館4階大ホールにおきまして、新たに成人となられた方をお祝いする「成人を祝う会」を行います。当日は、記念写真やお祝いの記念品を用意して、該当の皆さんのご参加をお待ちしております。

全肢連東海北陸ブロック大会 石川大会

○日時：令和2年6月13日(土)～14日(日)
1日目 14:00～ 式典
15:00～17:00 研修会(講演、シンポジウム)
18:30～20:30 情報交換会
2日目 10:00～ 自主研修(金沢市福祉用具情報プラザ見学)
○場所：ホテル金沢 2階ダイヤモンド

現在、常任理事を中心に実行委員会を開催し、開催内容・準備等を進めています。2月中旬には会員の皆様に詳しい参加案内をお送りしますので、多数の方の参加・協力をお願いします。なお、例年2月実施の「相談員等研修会」は本年に限り実行委員会に変えさせていただきます。

愛の絵はがき・一筆箋 販売中

今年も「愛の絵はがき」(1セット5種・10枚)、「一筆箋」の販売をしています。各¥250
ご注文やお問い合わせは事務局までお願いします!

ご寄付いただいた方々

株式会社全国通販様、小林 富彦様、野島 悟様、増田 梨花様、金沢市校下婦人会連絡協議会様
ありがとうございます。有効に活用させていただきます。

お悔やみ

小林 友彦 さん 元年8月19日に 松野 信一 さん 元年11月14日に永眠されました。
お二人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

編集後記

暖かい12月だな～と思っていたら先週風邪をひいてしまいました。油断大敵です!

賑やかな声が聞こえてきそうな活動報告がたくさん届きました。皆さんの感想文を読んで楽しい気持ちになります。ありがとうございました。

新しい年が幸せな一年でありますようにお祈り申し上げます。

作成スタッフ一同

** お問い合わせ・ご連絡 **
お気軽にお電話ください。

編集人：石川県肢体不自由児協会
石川県肢体不自由児者父母の会連合会
連絡先：〒920-8557(事務局)
金沢市本多町3-1-10
石川県社会福祉会館内
電話・FAX 076-224-6126
Eメール ishikawakenshiren@movie.ocn.ne.jp
発行人：北陸障害者定期刊行物協会
富山市今泉312 定価 50円

HSK 1994年8月12日
第三種郵便物承認
13
15
18
20
23
25
28日発行

